

あいさつ 「保護者・地域と共に」

れいわごねんど しょうがくぶ めい ちゅうがくぶ めい こうとうぶ めい しんにゅうせい むか
令和五年度、小学部に一四名、中学部に一八名、高等部に二三名の新入生を迎え、
ぜんこうじどうせいと めい わかやま しえんがっこう がくしゅう はじ
全校児童生徒二三二名で和歌山さくら支援学校の学習が始まります。

はじ しんがた かんせんしょう さんねんかん いま あ まえ おこな
始めに新型コロナウイルス感染症によりこの三年間は、今まで当たり前のように行
っていた教育活動ができない状況が続きました。その中でも ICT の活用や感染症
たいさく まな さんねんかん おも ごがつようか しんがた
対策については学びのあった三年間であったかと思えます。五月八日からは、新型コ
ロナウイルス感染症法上の位置づけが5類と移行する予定です。インフルエンザと同様
の対応となりますが、基礎疾患のある人にとってはまだまだ安心できる状況ではありま
せん。しかし、私たちは三年間で学んだ感染症対策をしつつ、教育活動を進め広げて
いきたいと考えています。今後とも本校へのご理解とご協力のほどよろしく願
いいたします。

わかやま しえんがっこう さくねんどじゅうしゅうねん お こんねんど にじゅうしゅうねん む
さて、和歌山さくら支援学校は、昨年度十周年を終え、今年度からは二十周年に向
けた新たな始まりとなります。十年間の歴史の上に、次の十年を見据えた新たな
わかやま しえんがっこう きたい きょういっかつどう すす おも
和歌山さくら支援学校になることを期待し、教育活動を進めていきたいと思
います。そのためには「授業づくり」を学校の根幹とし、授業づくりを中心とした学校づくりを進め
て参ります。

ひと ひと ひと なか せいかつ わたし つねづね がっこう ほごしゃ
また、人は人と人の「つながり」の中で生活をしています。私は常々、学校も保護者
の皆様や地域の皆様と「つながり」教育活動を進めていくことが大切であると考
えています。保護者の皆様や地域、学校関係者の方々と共に学校づくりをしていく所存
です。今回の新型コロナウイルス感染症では予期せぬ状況が起きました。今後の社会
はどのようになるのか予測することが困難です。その社会で生きていく子どもたちに
必要な力と必要な支援ができるように皆様と協力して取り組んでいきたいと思
います。私たちは元気に登校してくる子どもたちから、毎日、元気をいただいています。学校
がつながりの拠点となり様々な人とつながり子どもたちの元気を見守っていけるよう
な学校にしていきたいと思えます。一人一人を大切に温かい学校となるよう努力
してまいりますので、今後とも本校教育へのご理解とご協力の程、よろしく願
いいたします。